



年始の御挨拶

「びょういん、びょういん」

若草第一病院 院長 山中 英治



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は多大なる御支援と御指導を賜り誠に有り難うございました。

新年早々、奇妙な表題の拙文を御容赦下さい。

昨年11月に義母が大学病院で手術を受けることになりまして、准教授の術前診察に行き帰宅して言うには「支払いが70円やったけど、ほんまに医療費って安いわねえ、丁寧に説明してもらった偉い先生に気の毒やったわ」との後期高齢者の感慨です。確かに今時は幼稚園児へのお駄賃でも70円ならケチと思われるでしょう。手術を受けて1週間入院した支払いも5万円そこそこでした。先日うちのボロ車に駐車場で当て逃げされてドアがまたへこんだのですが、前にも修理代の見積もりが10万円以上もしたので、もちろん放置しています。「車のドアのへこみより人間の修理の方が安いねんねえ」と義母はまた失笑していました。

そこに大学生の娘が美容院から帰って来まして「お父さん、パーマかけたら1万円で足りなかったよ」と申します。「鼻炎で鼻を洗いに近所のお医者さんに行っても、千円札でお釣りもらえるのに、ほんま美容院とか高いわ」と言いますが、上手に父親からせびって行きました。病院も赤字が多いですが、美容整形や近視手術など以外はマスコミが言うように開業医がそれほど儲けているわけではありません。びょういんとびょういんでは支払う金額が違うのは、うちの小娘でもわかっております。

このように一般市民の感覚でも医療は低負担高福祉であることが実感されており、先の世論調査では消費税増税容認が67%で、高齢者社会では医療や福祉の充実のためなら負担増はやむなしと考える良識のある意見が増えています。自民党、民主党にかかわりなく、めったに乗らない高速道路や多すぎる空港、需要の見込めない新幹線の延伸や新駅設置などよりも、票や献金につながらなくても、国民の健やかな人生をサポートするためにお金を使って欲しいものです。

もちろん、高齢化社会で若者が減って生産性が低下しているので、野放図な診療報酬増加などを医療者達は要求しておりません。病院と診療所が地域で役割を分担して、かかりつけ医の日頃の健康管理で元気で働けるお年寄りが増えれば、医療費も抑制でき税収も増えます。若草第一病院は急性期に迅速に適切な医療を行い、回復されれば登録医の先生方に継続治療や慢性疾患の管理を担当して頂き、地域住民の健康を維持することに微力ながら貢献したいと考えております。

本年も何とぞよろしく御願い申し上げます。

～新任医師のご紹介～

婦人科 診療部長 小林 理章 医師

診察日：月・火・木・金

診察時間：午前9時～午前11時30分

元市立伊東市民病院副院長

救急診療科 救急センター長

切通 雅也 医師

元中河内救命救急センター一部長

～予約センターのご案内～

地域連携課予約センター 検査・受診予約受付について

当予約センターでは、紹介患者さんの検査・受診予約を承っています。

電話で予約頂き、その後直ちに予約票をFAXにて送付させていただきます。

予 約 セ ン タ ー

電話 （代表） 072 - 988 - 1409

FAX （直通） 072 - 982 - 5425

～第11回オープンカンファレンス開催のご案内～

日時：平成22年1月28日（木曜日）

午後14時30分より午後16時00分まで

会場：若草第一病院 本館3階会議室

東大阪市若草町1-6

TEL072-988-1409

講師：婦人科 診療部長 小林 理章

「婦人科から地域開業医先生方へのミニマムエッセンス」

放射線課 課長 中平 恒一

「若草第一病院の画像診断装置について」



～第19回地域医療支援病院等合同研修会のご案内～

日時：平成22年2月27日（土曜日）

午後5時00分より午後9時00分まで

会場：シェラトン都ホテル大阪

大阪市天王寺区上本町6-1-55

TEL06-6773-1111

講師：福井大学医学部附属病院

副院長 総合診療部 救急部教授 寺澤秀一先生

「ERと地域医療体制」について



社団の理念

最高の医療を提供し、地域社会の健康と健やかな人生に貢献します。

若草第一病院の目標と基本方針

<目標>

質の高い医療を常に提供する

<基本方針>

- 1 急性期医療、救急医療、入院医療を充実し地域医療に貢献する
- 2 医療の質の向上を目指し常に総括的に研鑽する
- 3 あらゆる事象に対する認識を全職員が共有する